

2. 調査報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域における認知症専門の事業所としての役割を果たすということ。また、入居者が自宅での生活が継続して普通の暮らしが行われることのできる事業所であるという理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ケアカンファレンス、隣接する同一法人との交流などの機会を通じ、職員が理念を共有し、その実現に向け、一体となって認知症ケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元中学校の生徒が訪れたり、近くの展望台で保育園の子供たちと一緒に昼食を取る等、地域との交流が進んできている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価制度については、サービス向上などについて職員間で話し合う場において活用している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、隣接する同一法人のグループホームと合同で開催し、お互いの情報交換や自治会長、役場職員、家族代表などから意見を聞き入れながら、地域に開かれたホームづくりやサービス向上について話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>乙部町ケア会議等に参加し、町との連携、他事業所との連携を図りながら、地域の認知症ケアの事業所としての役割を果たしている。</p>		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族へは、日常生活の様子などを書面で伝えたり、家族の来訪時には入居者の様子を直接伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議、家族の来訪時などの話し合いの中で家族からの意見を聞き出すよう働きかけている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者のダメージが少なくなるよう、異動がある場合には、後任へ引継ぎをしっかりと行っている。隣接するホーム間の異動の場合は、ホーム間交流も行われており、異動後も顔なじみの関係が継続されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	南北海道GH協議会主催研修などの地域のGH同士の研修には職員が参加し、情報交換やサービス向上についての知識習得などを行っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	上記地域GHとの研修会などを通じて情報交換などの交流が行われている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者本人、家族から入居前のヒアリングを十分に行い、入居後にダメージが少なくなるよう情報を聞き出し、ケアに活かしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居後の会話などから、入居者ができること、得意なことを見出し、本人のできることについては役割を担ってもらっている。ホーム内の様子から、お互いが支え合いながら生活を共にしていることが確認できた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	できるだけ、本人の意思を尊重しながらケアに取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	入居者本人、家族からの意向を汲み入れながら、職員で話し合いを行い、本人にとって自立支援、自分らしい生活が実現できるよう計画が策定されている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	必要に応じて、計画の見直しが行われている。		介護計画見直しに反映できるよう、日常の介護計画の実践記録や生活面の記録の充実が望まれる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	隣接するホームの職員同士で相互支援を行ったり、法人所有の車を借り入れ送迎を行うなど多機能性を活かしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	原則として、入居前の主治医に引き続き診てもらっており、入居者の体調管理は十分に行われている。往診に来てもらえる主治医もあり、医療支援は臨機応変な対応をしてもらうことが可能となっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期ケアは実施していないが、将来的には実施することも検討している。その際は、家族、医師との連携を十分にとっていくことを考えている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	会話、排泄、食事の時など、入居者のプライバシーを損ねる様子は全く見られなかった。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日中居間に入居者が集まって歌を歌ったり、会話を職員と一緒に楽しんでる様子が伺えた。入居者に対して、職員が急がせたり、強要するような点は全く見られなかった。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は入居者、職員が同じテーブルを囲み、会話を楽しみながら食事をしてきた。職員は入居者に目配りしながら、必要に応じて食べこぼしなどのサポートを行っていた。メニューには、地元で取れたものや季節の野菜などをときどき取り入れるなどの工夫も見られる。		栄養バランスは取れているが、同じ献立が続くケースも散見され、バランスの取れた食事になるようチェックを行っていただくことを望む。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、入居者の希望や体調の合わせて支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者がそれぞれ自分のしたいことを行っており、職員は入居者に目を配り、孤立している入居者にはサポートするなどの気配りも出ている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出には制限なく、外出の際には職員が付き添うなど対応を取っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、鍵をかけることなく、外出は自由に出来ている。外出の際は、職員はすぐに気づくことができ、後ろから付き添うなどの対応を取っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防災訓練を定期的実施し、災害に備えている。災害時の対応手順もできている。地域の方々にも緊急時の協力を得られるよう依頼している。</p>		<p>災害時対応が的確に出来るよう、災害時手順を分かり易いものにし、活用できるように日ごろから周知徹底していただくことを望む。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は栄養士が管理しており、栄養バランス、カロリー計算はされている。水分量チェックは、1日に必要な量を確保できるようチェックを行っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間はゆったりとしたスペースであり、入居者がそれぞれ自分の場所を確保できている。季節の飾り付けをしており、季節感を出すなど四季の変化を五感で感じることができるよう配慮している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、それぞれ使い慣れた家具、調度品などを持ち込んでおり、自宅との生活の継続をできるだけ実現している。</p>		

は、重点項目。